

はじめに

日本では、ほとんどの人が中学、高校の学科あるいは受験科目として英語を学びます。この過程でしっかりと英語に取り組んだ方は、かなりの語彙、文法、読解の力を身につけます。しかし、残念ながら、これだけでは英語を実用的に使いこなすことができません。そのため、学校英語・受験英語に対する批判、極端な場合は不要論が、繰り返し起こってきました。確かに学校や受験で教えられる英語には多少の修正は必要でしょう。しかし、外国語を習得するために、まず基礎的な語彙・文法を学び読解力をつけることは間違った方法ではありません。一定の年齢になってから、その言語が日常的に使われることがまったくない環境で習得を目指すなら、むしろ最善の方法でしょう。

英語を使えるようにならないのは、語彙・文法・読解を学ぶのが足りないからではなく、こうした基礎知識がスキルに変わっていないからです。学科学習、受験勉強でつける英語力はほぼ知識の段階で止まっています。実用英語を身につけるためには、この静止した知識を動かす必要があります。「知っている」を「できる」に変えるということです。そのためには文字だけで文法問題を解いたり、英文を読み解いたりするだけの学習から脱し、言語の本質的な姿である音声を用いたトレーニングをすればいいのです。私はこれを「稼働系（運動系）トレーニング」と呼んでいます。外国語を話したり聴いたりする実用能力を得たければ、どこかの段階で稼働系トレーニングをしなければなりません。

外国語の知識を実用的なスキルに変える稼働系トレーニングですが、具体的には、理解できる英文あるいはフレーズを耳と口という音声器官を通じ、出し入れすることに尽きます。音読はこの稼働系トレーニングの代表的なものです。音読は外国語を身につけるための、実に伝統的で且つ確実な方法です。その言語が話される国に行かず、外国語運用力を獲得した人は、ほぼ例外なく、学習法の重要な一部として音読を実践しているでしょう。私自身も中学時代に、音読を通じて一生ものの英語の基礎を身につける機会に恵まれました。

効果が高く、ぜひ行いたい稼働系トレーニングとしては、他にリピーティング、シャドーイングといった方法があります。ただ、これらのトレーニングを同時並行的にすべて行うのは時間や教材コストの点で難しく、学習初期の方には複雑なトレーニングプランを作成することも困難でしょう。確かに、外国語が上達するにつれて、さらなる力の向上を図るなら、やや複雑な学習・トレーニングを行う必要が出てきます。しかし、初級から中級段階では、それほど複雑なプラン・方法は必要ありません。むしろ稼働系トレーニングを一本化することで、多くの教材の間で迷ったり、複雑なプランで混乱することがなくなります。

本書で紹介する音読パッケージトレーニングは、効果の高い音読、リピーティング、シャドーイングを同時に行うことのできるトレーニングです。リピーティングとシャドーイングはリスニング力を向上させるためのトレーニングとして扱われることが多いのですが、「理解できる英語を音声器官を通じて出し入れする」という点を、音読と共有しています。従って、それぞれの方法が互いに衝突するこ

となく、融合的・相乗的な効果を得ることができます。音読パッケージトレーニングによって、返り読みや日本語への翻訳なしに、英語を語順のまま直接、感覚的に理解するという音読の本質的な効果の他、リスニング力も大きく向上させることができます。

外国語の学習は、無数の川を渡っていくような行為です。英語を音声で直接的に処理できる、いわば「英語体質」を手に入れることは、最初の大きな川を渡ることです。本書を使い、多くの方が英語体質を獲得することを願っています。

森沢洋介

本書は『CD BOOK みるみる英語力がアップする音読パッケージトレーニング』のCD 付属版から音声ダウンロード版にした改訂版になります。プログラムの順番は変更しておりますが、内容も音声もほぼ変わっておりません。